

令和5年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立黒瀬高等学校	校長	藤田 春恵	生徒指導主事	藤本 倫考
取組事例名	『障害福祉を学ぶ日への継続的な取組～地域共生社会の実現～』				

1 取組の設定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉について体験することにより自分にできることを見付ける。 ・支え合う地域を創るために、自分自身が地域共生社会を創る大切な一人であることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域共生社会」について理解できる。 ・「障害福祉」「障がい者」について、正しく理解できる。 ・「障がい者と共にできる健康づくり」について自分に何ができるのか考えることができる。



2 展開

取組の具体的内容	取組の創意工夫																								
<p>「障害福祉の日」として、地域関係者の協力を得て、全校生徒が体験活動を行い、自分に何ができるのかを考えた。</p> <p>○交流会・・・普通科1年生が総合的な探究の時間で企画したゲーム（的当て、ボーリングなど）で、黒瀬町内にある2施設（社会福祉法人倫、社会福祉法人太陽の町）の障がい者の方を招待して交流した。福祉科1、2年生が介助を行った。</p> <p>○福祉ウォーク・・・福祉科1、2年生が介助しながら体育館をウォーキングしたのち、プロ講師によるリズム体操を行った。</p> <p>○手話体験学習・・・普通科2、3年生が東広島市手話サークルの方から講話を聴き、手話を体験し、福祉科3年生が補助した。</p> <p>○講演会・・・普通科2、3年生が株式会社八天堂ファーム代表取締役 林 義之 様から、障がい者や生活困窮者が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組「農福連携」についての講演を聴講した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">1年</th> <th colspan="2">2年</th> <th colspan="2">3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通科</td> <td>福祉科</td> <td>普通科</td> <td>福祉科</td> <td>普通科</td> <td>福祉科</td> </tr> <tr> <td>交流会</td> <td>交流会</td> <td>手話体験</td> <td>交流会</td> <td>講演会</td> <td>手話体験</td> </tr> <tr> <td>振り返り</td> <td>福祉ウォーク</td> <td>講演会</td> <td>福祉ウォーク</td> <td>手話体験</td> <td>補助</td> </tr> </tbody> </table> <p>＜関係団体＞東広島市黒瀬支所、社会福祉協議会黒瀬支所、黒瀬生涯学習センター、東広島市教育文化振興事業団、広島国際大学、社会福祉法人倫、社会福祉法人太陽の町、東広島市スポーツ推進委員、東広島市社会福祉協議会、東広島市手話サークル連絡会、株式会社八天堂ファーム</p>	1年		2年		3年		普通科	福祉科	普通科	福祉科	普通科	福祉科	交流会	交流会	手話体験	交流会	講演会	手話体験	振り返り	福祉ウォーク	講演会	福祉ウォーク	手話体験	補助	<p>生徒にめあてをもたせるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通科の生徒には交流会の企画にあたり、施設の方に「障がい者と施設の現状」について講演していただいた。 ・福祉科の生徒は日々の学びで得たものを普通科の生徒に実践して見せるため、どのように伝えるか綿密に準備した。 <p>生徒の意欲を高めるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流会の準備段階で、グループで企画したゲームの内容について、東広島市黒瀬支所、市社協、広島国際大、市事業団の方に実演して見ていただき、難易度や進行についてアドバイスをいただいた。 ・助言を受けた後、ゲームの物品を修正するなど改善できる時間を確保した。 <p>生徒の頑張りを認め、価値付けるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを行い、達成感を感じたことや、施設の職員の方の謝辞、施設利用者からのお礼状（後日）などを共有した。 ・福祉科の生徒は、日頃の成果を普通科の生徒や来校された方に披露することで自信につながった。
1年		2年		3年																					
普通科	福祉科	普通科	福祉科	普通科	福祉科																				
交流会	交流会	手話体験	交流会	講演会	手話体験																				
振り返り	福祉ウォーク	講演会	福祉ウォーク	手話体験	補助																				



3 成果と課題

<p>事前の準備や講演を通じて、「障がい者は身体が不自由な方のことだと思っていたが環境に困っている人たちのこと」「障がいは個人の特徴」ということを学び、一緒に楽しく遊べるレクを考えたいと前向きな発想を持つ生徒が増えた。振り返りでは生徒から「うまく話せるか不安だったが、当日会ってみんなが笑顔で楽しめたのでよかった。」教員からも「自ら声を出し普段より頼もしい姿が見られた。」との声があり、成長につながる貴重な経験ができた。準備期間や役割分担については継続して検討していく必要がある。</p>
--